

思い 新聞

2013年(平成25年)12月6日(金曜日)

©中日新聞社 2013 (日刊)



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

下町ロータリーエンジン

名古屋市南西部の中小企業グループが、シンプルな構造で高い出力を得られる「ロータリーエンジン」を独自に開発している。メンバーの一人が半世紀前から温めていた夢を実現しようと、仲間の経営者らが知恵を出し合い、試作機を完成させた。船舶や小型発電機などでの利用を想定しており、三年以内に実用化して、下請け企業からの脱却を目指す。
(後藤隆行)

名古屋・中小グループ試作

「ボボボボ…」。試作機が白い煙を上げながら、小気味よい音を立てた。五日に港区で開かれた報告会。アイディア技研(中川区)代

して、滑らかな回転で動力を生む仕組み。一回転でガソリンと空気の混合気を四回爆発させ、試作機は八気筒で排気量四〇〇ccクラスの通常エンジンに相当する。主要部品は約

二五点と少なく、大きな設備は不要という。ロータリーエンジンの点火と燃焼を実演する堀内政晴さん=名古屋市港区で



ロータリーエンジンの点火と燃焼を実演する堀内政晴さん=名古屋市港区で

的な壁にぶつかっていた。約五年前、羽根を二枚ずつレバーでつなぐことで、遠心力を抑えて回転効率を高める方法を思いつく。本業の合間を縫って試作したものの、エンジンに火が付かなかった。そこで所属する名古屋商工会議所金山南支部「ものづくり研究会」に協力を求め、今年二月に総勢十五人のチームが立ち上がった。自動車関連のばねや治具などを作る面々が、堀内さんと設計を見直しながら、研磨や小物加工など得意分野を請け負った。堀内さんは「暗中模索だったが、みんなが力を合わせてくれ、理論を実証できた」と感慨深げに語る。ロータリーエンジンは自動車のマツダの代名詞だっただけに、仲間たちも「大手にも負けない名古屋発のエンジンを」と意気盛ん。実用化には、さらなるエンジンの出力アップなどが課題といい、多くの協力先を求めている。